

保健、医療、福祉と連携した聴覚障害のある乳幼児に対する 教育相談充実事業



長崎県教育委員会

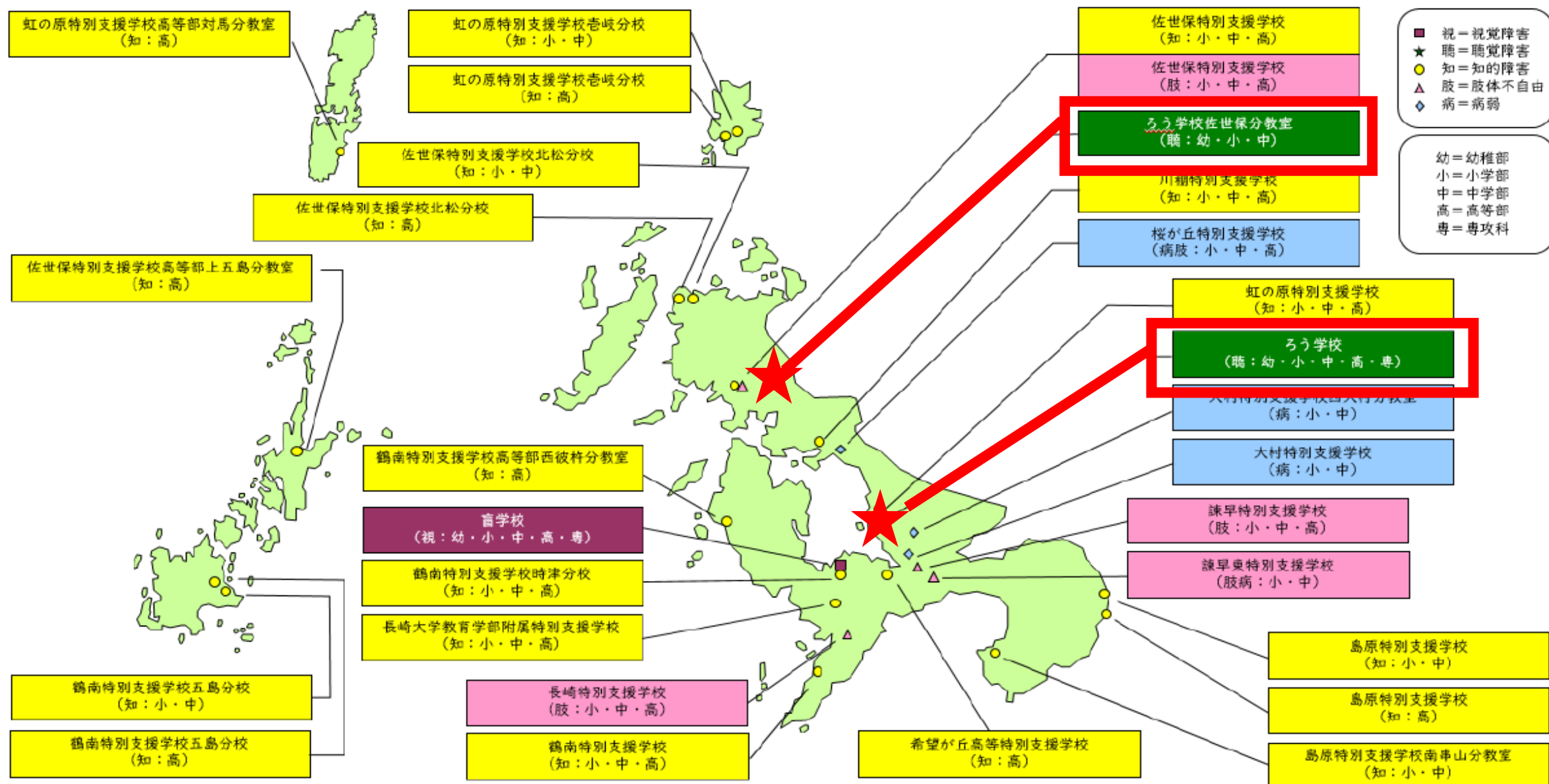
長崎県内の特別支援学校

【県立】本校：13校

分校：4校

分教室：6分教室

【国立】1校



本校（県央地区：大村市）

幼稚部：6名 小学部：14名
 中学部：3名 高等部本科：16名
 高等部専攻科：6名



佐世保分教室（県北地区：佐世保市）

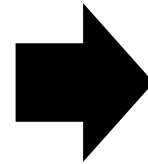
幼稚部：3名 小学部：4名
 中学部：0名



現状（□）・課題（■）

- 本県唯一の聴覚障害特別支援学校として、聴覚障害児の教育及び教育相談の場として、中心的な役割を果たしている。
- 在籍している聴覚障害児だけでなく、地域の小学校等で学ぶ聴覚障害児にも支援を行っている。
- 聴覚障害児の学びの場の連続性は多様化しており、個々の学習の習得状況に差が生じやすい状況にある。
- 乳幼児教育相談を経て地域の学校に就学した聴覚障害児でも、年数を経るにつれてつながりが薄れてフォローアップが十分にはできていないケースや、元々教育相談につながっていないため、情報を把握していないケース等もある。

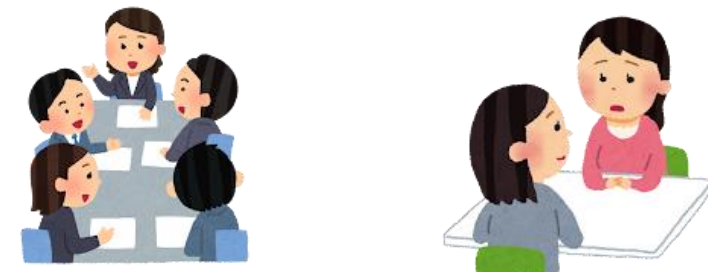
全ての聴覚障害児の支援体制作りに
 教育機関として寄与するために…



- ・県内の多様な学びの場で学ぶ聴覚障害児の情報を関係機関内で共有し、それぞれの立場から適切な支援を行う。
- ・ろう学校の乳幼児教育相談体制のさらなる強化を図る。

令和2・3年度

「保健、医療、福祉と連携した聴覚障害のある乳幼児に対する教育相談充実事業」



- ①言語聴覚士の派遣等により、医療領域の最新の知見に基づいた乳幼児教育相談を計画・実施することで、乳幼児教育相談体制をさらに強化する。



- ②「乳幼児教育相談マネージャー」を配置し、関係機関との連絡調整や教育相談に係る事務作業及び乳幼児教育相談担当者の補佐をすることで、乳幼児教育相談担当者の事務的業務等の軽減を図り、教育相談の質や回数を担保する。

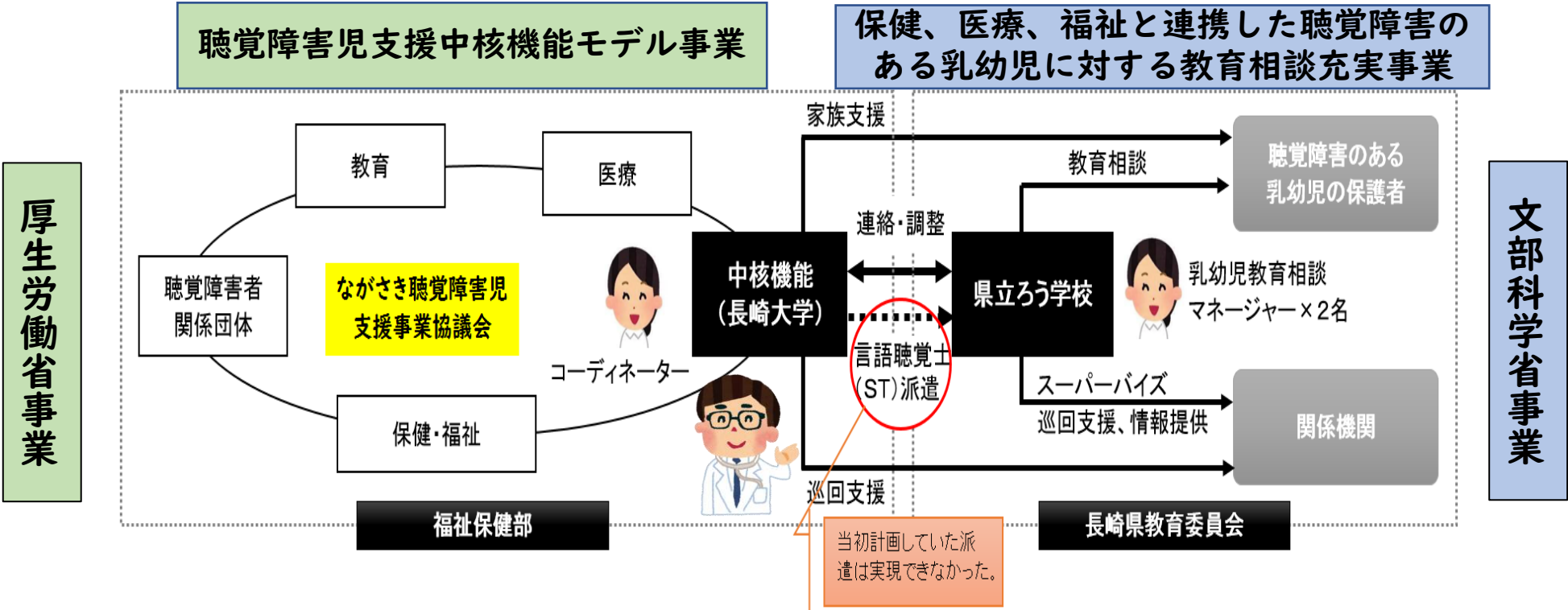


- ③保健、医療、福祉等の関係機関と、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、県内の聴覚障害児の早期支援体制作り及び学齢期のフォローアップ体制作りに寄与する。



令和2年度 事業目標 及び 成果

①言語聴覚士の派遣等により、医療領域の最新の知見に基づいた乳幼児教育相談を計画・実施することで、乳幼児教育相談体制をさらに強化する。



成果

- 新型コロナウイルス感染症が再拡大していく時期と重なったこともあり、ろう学校の乳幼児教育相談場面等への言語聴覚士の派遣は実現できなかった。
- ろう学校の乳幼児教育相談担当者が、協議会の中核機能である長崎大学医学部の医師及び言語聴覚士と直接連絡を取り、情報の共有や質問等をしやすい環境を整えることができた。
- 医療領域から得た最新の情報を教育相談の場面や保護者への情報提供・助言に役立てることができた。

令和2年度 事業目標 及び 成果

②「乳幼児教育相談マネージャー」を配置し、関係機関との連絡調整や教育相談に係る事務作業及び乳幼児教育相談担当者の補佐をすることで、乳幼児教育相談担当者の事務的業務等の軽減を図り、教育相談の質や回数を担保する。

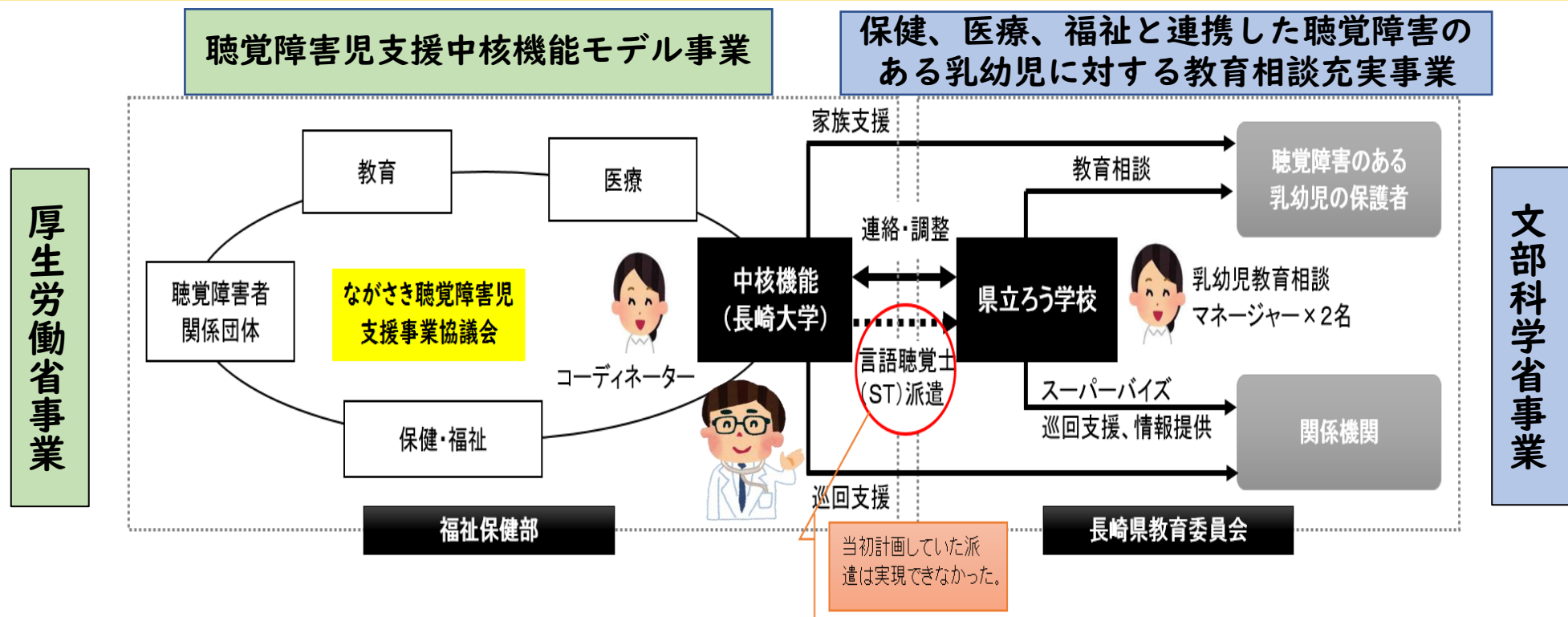
長崎県立ろう学校			
本校（県央地区：大村市）		佐世保分教室（県北地区：佐世保市）	
幼稚部、小学部、中学部 高等部本科及び専攻科		幼稚部、小学部、中学部	
乳幼児教育相談マネージャー （保育士経験者）		乳幼児教育相談マネージャー （保育士経験者）	

- ＜乳幼児教育相談マネージャーの主な業務内容＞
- ①関係機関との連絡調整
 - ②教育相談や巡回相談等に係る連絡調整業務の補助、相談業務に係る報告書や記録作成等
 - ③乳幼児教育相談の実際場面におけるアシスタント、保護者学習会や外部研修会時の資料作成等

成果	■教育相談場面へ言語聴覚士の派遣が実現できなかったため、派遣に係る連絡調整業務は発生しなかった。 □乳幼児教育相談マネージャーが、外部からの電話対応や教育相談の事前準備、面談中の子供への対応、面談結果の記録整備等、乳幼児教育相談担当を補佐したことにより、担当者の業務負担軽減が図られ、結果的に相談の質・回数が担保された。
----	--

令和２年度 事業目標 及び 成果

③保健、医療、福祉等の関係機関と、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、県内の聴覚障害児の早期支援体制作り及び学齢期のフォローアップ体制作りに寄与する。



【医療】

長崎大学病院、耳鼻咽喉科 神田E・N・T医院
佐世保市総合医療センター、長崎医療センター
長崎県対馬病院

【聴覚障害者関係団体】

ながさき難聴☆親子の会、長崎ヘレンの会、片耳難聴の会、
長崎県難聴者・中途失聴者協会、全国手話通訳問題研究会長崎支部
一般社団法人長崎県ろうあ協会、長崎県聴覚障害者情報センター

【保健・福祉】

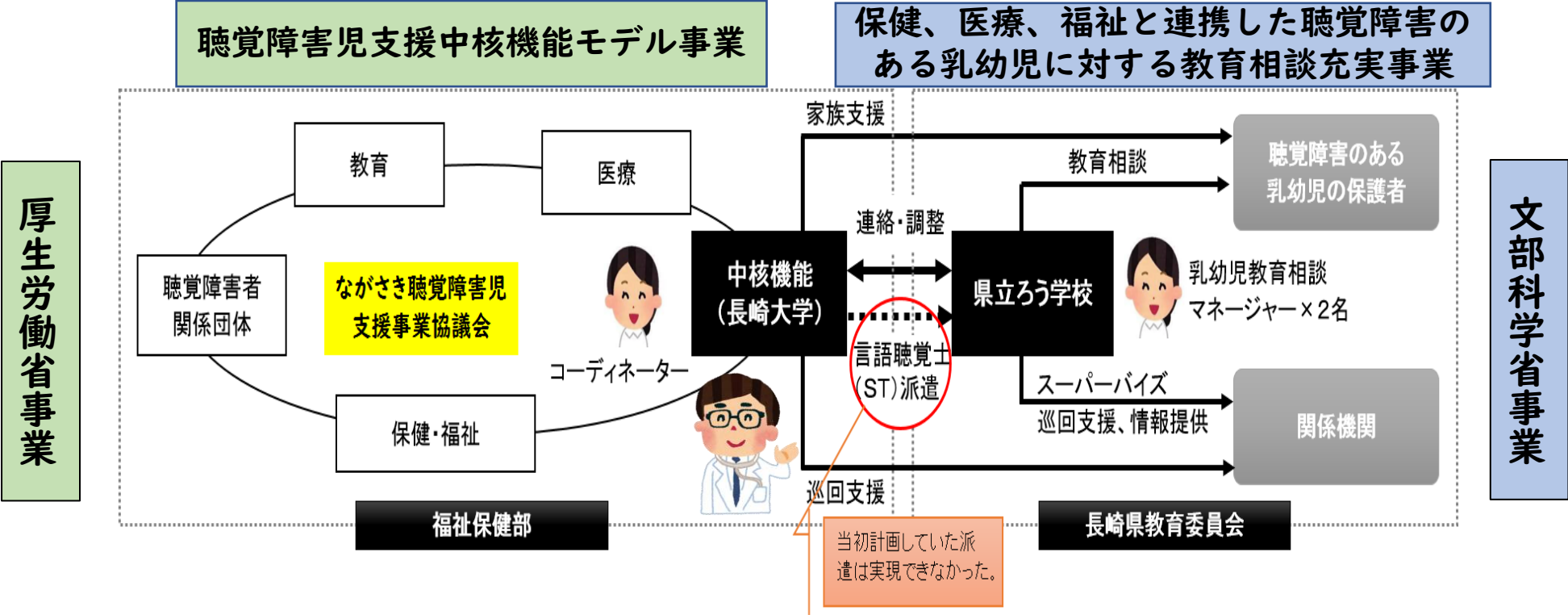
長崎県こども政策局こども家庭課
長崎県福祉保健部障害福祉課
長崎県各市町母子保健担当課

【教育】

長崎県教育委員会、長崎県立ろう学校

令和2年度 事業目標 及び 成果

③保健、医療、福祉等の関係機関と、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、県内の聴覚障害児の早期支援体制作り及び学齢期のフォローアップ体制作りに寄与する。



成果

- ☐ 学校教育の性格や乳幼児教育相談で重視していることを関係機関に周知
- ☐ 多様な関係機関との連携体制基盤を構築
- ☐ ながさき聴覚障害児支援事業ホームページ開設に協力
- ☐ 聴覚障害当事者やその保護者のアンケートへ回答

ながさき聴覚障害児 支援事業ホームページ

「ながさき聴覚障害児支援事業」は難聴があるお子さんやそのご家族の方を支援する長崎県の関連機関の相談窓口であり、それぞれを結びつけることを目的としています。

ながさき 聴覚障害児支援事業

お問い合わせ

ホーム 本HPの主旨 難聴と小児 相談について よくあるご質問 関連資料



ながさき聴覚障害児支援事業のホームページへようこそ

難聴があるお子さんの支援には、いろいろな分野（医療、教育、行政、家族の会、支援団体など）からの支援が必要です。今まではそれぞれの機関が個別に支援を行ってきましたが、2020年11月から国の事業として支援の見直しが始まりました（聴覚障害児支援中核機能モデル事業）。

このホームページは、難聴があるお子さんやそのご家族の方を支援する長崎県の関連機関の相談窓口であり、それぞれを結びつけることを目的としています。

各支援機関とその支援内容

医療

長崎大学病院：難聴児の検査、診断、療育、治療（補聴器や人工内耳の選定、手術など）を行っています。難聴に関する研究、医学生教育なども行っています。

耳鼻咽喉科 神田E・N・T医院：難聴児の検査、診断、療育、AVT療育（聴覚活用療育）、補聴器や人工内耳の選定などを行っています。

佐世保市総合医療センター：難聴児の検査、診断、治療を行っています。

長崎医療センター：難聴児の検査、診断、治療を行っています。

長崎県立馬病院：難聴児の検査、診断、治療を行っています。

教育

長崎県教育庁
長崎県立ろう学校（大村市）および佐世保分教室（佐世保市）：
保護者およびご家族の支援も行っています。



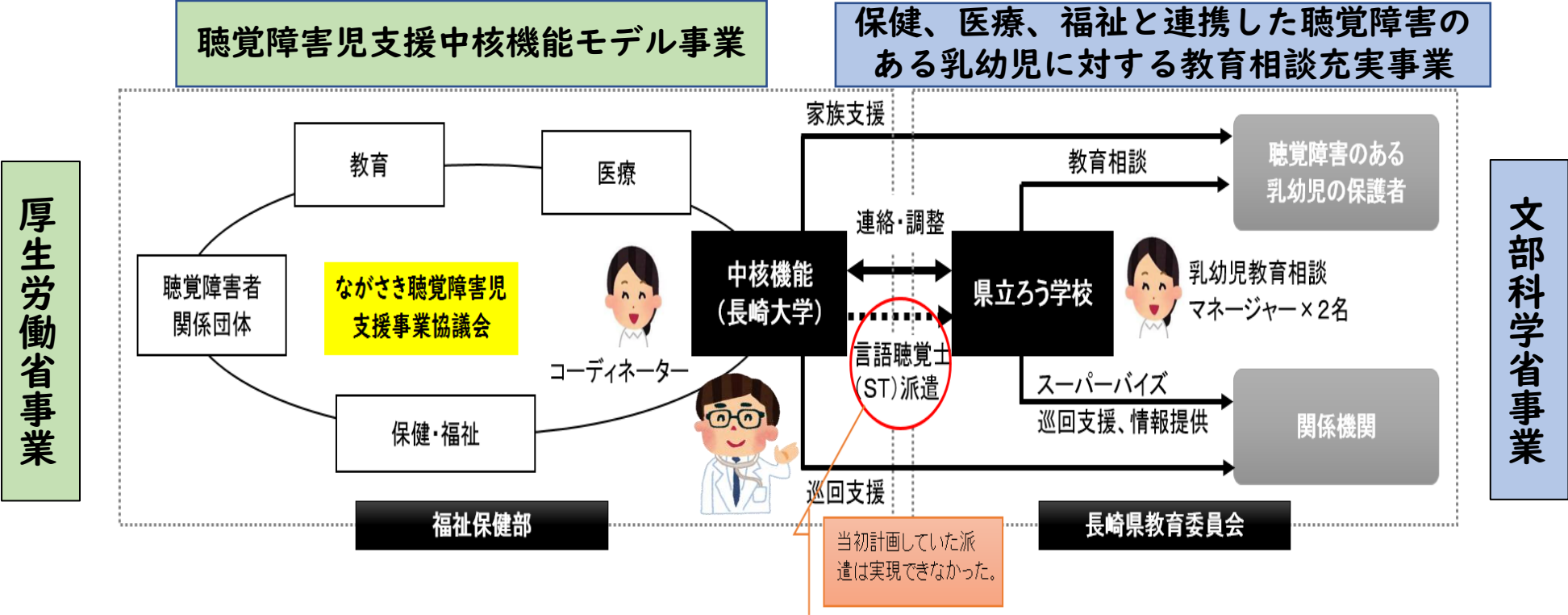
お問い合わせはこちら

ツイート いいね! 0 0! フォックマーク いいね

ページトップ

令和2年度 事業目標 及び 成果

③保健、医療、福祉等の関係機関と、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、県内の聴覚障害児の早期支援体制作り及び学齢期のフォローアップ体制作りに寄与する。



成果

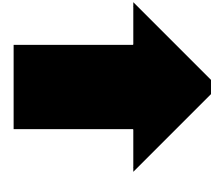
- ☐ 学校教育の性格や乳幼児教育相談で重視していることを関係機関に周知
- ☐ 多様な関係機関との連携体制基盤を構築
- ☐ ながさき聴覚障害児支援事業ホームページ開設に協力
- ☐ 聴覚障害当事者やその保護者のアンケートへ回答

課題

- ろう学校へ言語聴覚士の派遣ができなかったため、実際の相談場面で乳幼児教育相談担当者と言語聴覚士がどのように連携し、役割分担できるか等を検証することができなかった。



- 乳幼児教育相談マネージャーの配置によって、乳幼児教育相談担当者が抱える多岐にわたる業務が明確になってきた。



今後の方策

- 「ながさき聴覚障害児支援事業協議会」の各機関と、互いの専門性や強みを活かしながら、聴覚障害児及び保護者支援の際に役割分担や協働の具体を明らかにしていく。



- 乳幼児教育相談担当者がこれまで一人で抱えてきた業務を洗い出し、校内で共有した後、削減や統合ができるもの、他の教職員に移譲や分担ができるものはないか等、管理職を含めた全職員で検討する必要がある。



- ①言語聴覚士の派遣等により、医療領域の最新の知見に基づいた乳幼児教育相談を計画・実施することで、ろう学校における乳幼児教育相談体制の充実を図る。



- ②佐世保分教室に「乳幼児教育相談マネージャー」を継続して配置し、関係機関との連絡調整や教育相談に係る事務作業及び乳幼児教育相談担当者の補佐をすることで、乳幼児教育相談担当者の事務的業務等の軽減を図り、分教室の教育相談の質や回数を担保する。



- ③協議会に参加し、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、引き続き、県内の聴覚障害児の早期支援及び学齢期のフォローアップに係る体制作りに寄与する。



令和3年度 事業目標 及び 成果

①言語聴覚士の派遣等により、医療領域の最新の知見に基づいた乳幼児教育相談を計画・実施することで、ろう学校における乳幼児教育相談体制の充実を図る。

<参加者の声>

教育とは異なる分野の専門家から研修を受けることは大事だと感じた

当たり前のように使っている機器も、実は基礎的なところを理解しないまま使っていたことに気付かされた

言語聴覚士を招いた研修会を実施

<参加者>

- ・乳幼児教育相談担当者
- ・管理職員
- ・分教室職員

得た知見は教育相談に活かせる

成果

□言語聴覚士を招いた研修会で得た知見を、教育相談等につなげることができた。

令和3年度 事業目標 及び 成果

②佐世保分教室に「乳幼児教育相談マネージャー」を継続して配置し、関係機関との連絡調整や教育相談に係る事務作業及び乳幼児教育相談担当者の補佐をすることで、乳幼児教育相談担当者の事務的業務等の軽減を図り、分教室の教育相談の質や回数を担保する。

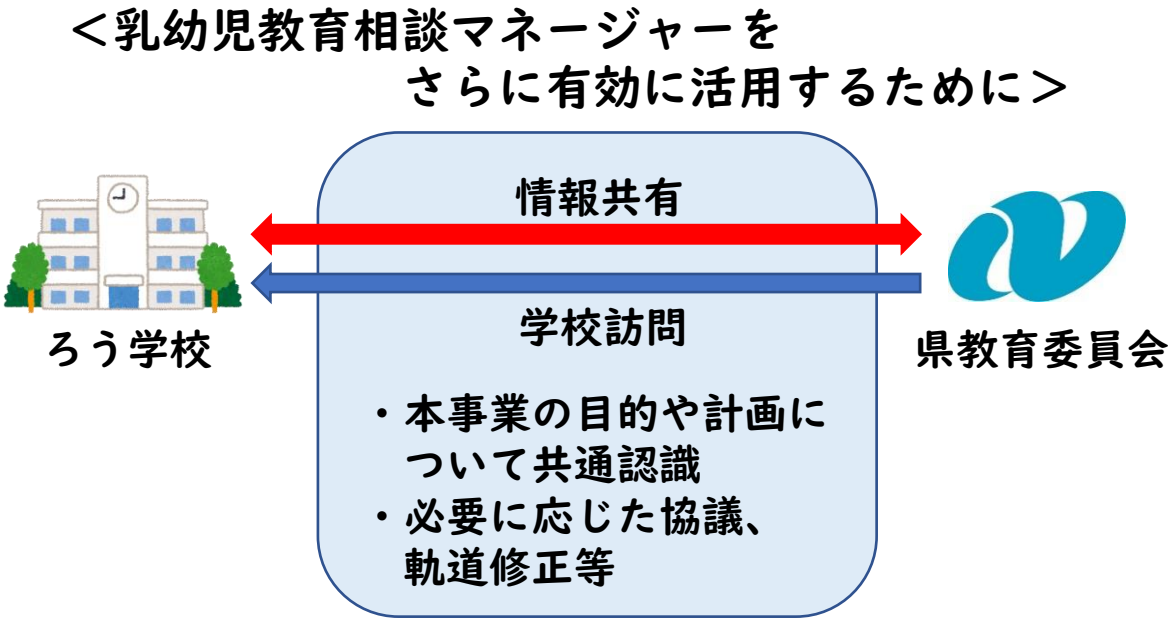
長崎県立ろう学校

佐世保分教室（県北地区：佐世保市）

幼稚園、小学部、中学部



乳幼児教育相談マネージャー
(小学校教諭及びろう学校教諭免許状保有
難聴特別支援学級担当経験者)



成果	□乳幼児教育相談マネージャーが補佐的業務を行うことで、乳幼児教育相談担当者の業務負担を軽減し、担当者は相談業務に注力することができた。
	□乳幼児教育相談に係る様々な業務について記録等で視覚化されたことで、これまで担当者が一人で抱えて対応せざるを得なかった細かな業務についても、その内容を管理職員が把握し、改善に向けて今後の校内体制を工夫することにつながった。

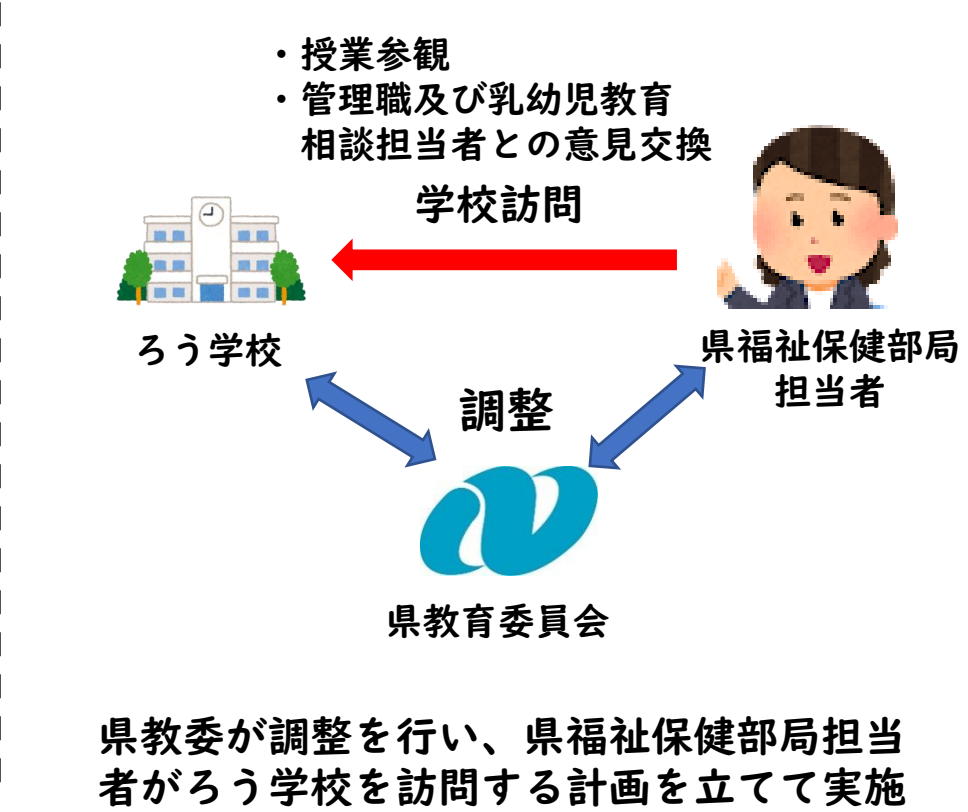
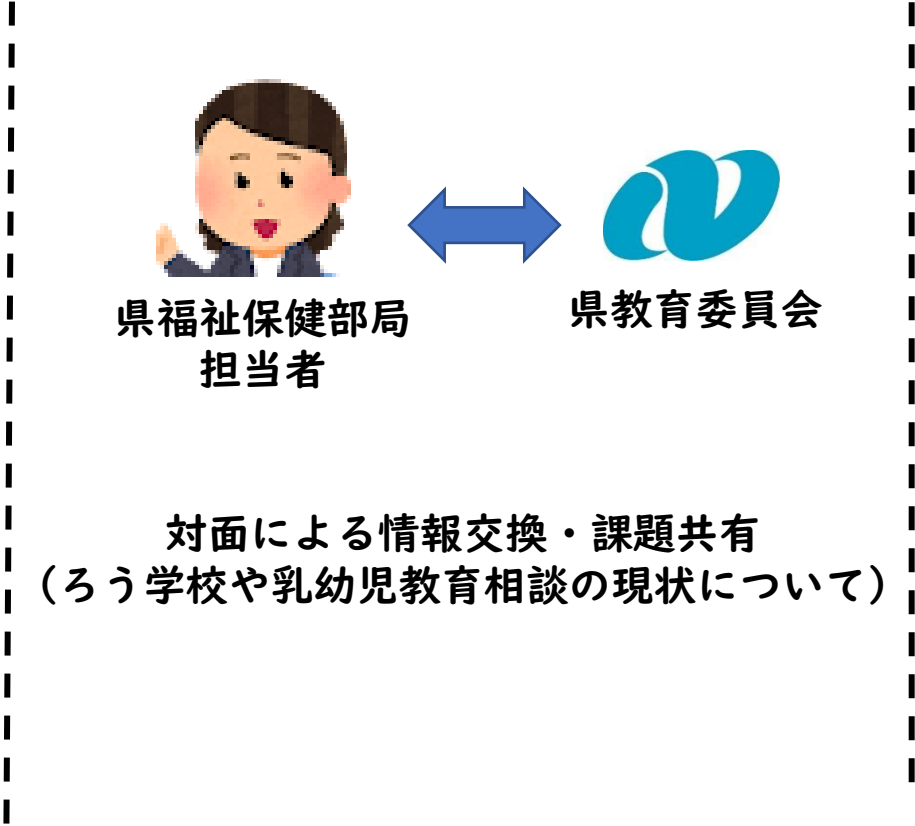
令和3年度 事業目標 及び 成果

③協議会に参加し、県内の聴覚障害児に関する情報を提供し合い、相互に把握することで、引き続き、県内の聴覚障害児の早期支援及び学齢期のフォローアップに係る体制作り に寄与する。



12月
オンライン形式による
協議会の開催

- ・ 県教育委員会から、本事業について説明し、関係機関に引き続き協力を依頼
- ・ ろう学校が制作している「学校紹介動画」の一部を提示

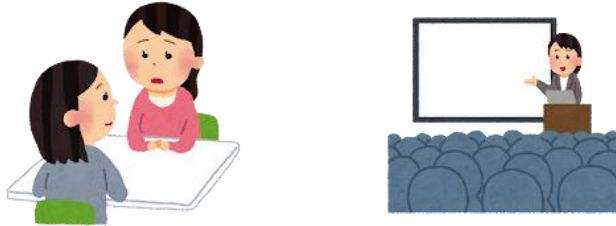


成果	☐ 「顔が見える関係性づくり」の一步を進めることができた。
----	--

今後の課題と方策

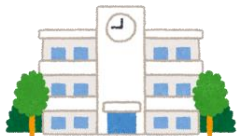
1 言語聴覚士等の活用

- 言語聴覚士等の外部専門家を活用及び連携した取組を継続する。

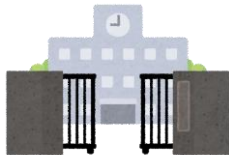


3 県北地区の教育相談体制の充実

- 相談内容に応じて他の特別支援学校と役割分担をしながらセンター的機能の役割を果たす。



ろう学校
佐世保分教室



A知的障害
特別支援学校

2 ながさき聴覚障害児支援事業協議会への参加

- 協議会ホームページを周知する。
- 相談者がろう学校に直接アクセスしやすくなる工夫を行う。（本校や分教室の「教育相談会」「学校公開」等の情報を掲載）



4 切れ目ない支援に向けた取組

- 関係機関と情報共有を継続して支援を必要としている幼児児童生徒を把握する。



- オンラインの利便さを活用した乳幼児教育相談の工夫を行う。

